

10 埋蔵文化財情報管理システムの活用について

埋蔵文化財情報管理システムは平成14年度に始まったシステムであるため、現状では、活用のための基礎資料作成が中心となっているが、今後はさまざまな場面で活用を進めていく計画である。特に、活用の領域を、「調査・整理・研究」「資料収集・保存」「指導・研修」「普及・啓発」として、

- ① インターネットによる県内外全域
- ② 「上野原縄文の森」来園者
- ③ 埋蔵文化財保護行政施設及び担当者
- ④ 当センター職員

を対象に、個々の場面でどのような情報が求められるのかを検討しながら内容の充実を図っていききたい。

現段階で可能な活用としては、埋蔵文化財保護行政担

当者等を主な対象としたインターネットによる「遺跡分布地図」の情報提供がある。これは、昨年度、県文化財課の作成した「遺跡GIS」のデータを当センターのWebサーバ上でも稼働させ、県内の遺跡分布について簡易的にホームページから検索・一覧表示できるようにしたものである。

上野原縄文の森への来園者に対しては、データベースへの登録が終わった遺跡情報を展示館のサーバへ送り、常設展示室端末から自由に情報を引き出せるようにしている。

埋蔵文化財は、学校教育や生涯学習でも十分に利用できるものである。総合的な学習の時間や郷土教育などの教材として活用できそうな内容も徐々にではあるが公開を進めている。

領 域	活 用 内 容
調査・整理・研究	1 埋蔵文化財情報データベースの活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 遺物、実測図、文献等の整理 ・ データのコード化による整理・検索 ・ デジタル報告書の作成 2 県内外埋蔵文化財関連機関等との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・ インターネットによる情報交換及び共同開発 ・ サーバのレンタルによる市町村保有データのデジタル化支援
資料収集・保存	1 デジタルデータベースの活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ フォーマット統一による情報入力作業 ・ サーバによるデジタルデータの一元管理 ・ デジタルメディア（CD-R/RW, DVDメディア等）への保存
指導・研修	1 センター内会議・各種研修会等における活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各遺跡調査進捗状況の報告 2 埋蔵文化財専門研修講座における活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市町村教育委員会職員を対象にした長期研修講座 ・ 市町村教育委員会の埋蔵文化財専門職員を対象にした発掘調査技術研修講座 3 来館者対応における活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般・研究者向けの情報提供 ・ 上野原縄文の森展示館との情報の共有化
普及・啓発	1 インターネットの活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページの更新及びコンテンツの拡充 ・ 来館者への情報提供 2 「上野原縄文の森」主催の各種事業の紹介及び参加募集 <ul style="list-style-type: none"> ・ 展示案内 ・ 各種事業の参加者募集案内 3 デジタルデータベースの活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育機関向けのデジタルメディアの制作及び配布 ・ 展示施設との情報の共有化及び相互補完
その他	1 ネットワークの活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 交通アクセス及び県内外文化施設等の紹介 ・ 観光案内

第4表 埋蔵文化財情報管理システムの主な活用内容